



にじのはし幼稚園 園だより



令和6年12月号
港区立にじのはし幼稚園
園長 飯田 美弥

今年も最後の月となりました。12月にはにじっこ劇場や餅つきなど、お子さんの成長を感じられる行事や、子どもたちが年末の日本の伝統行事を体験する機会があります。是非日頃から体調を整えて、当日は楽しい時間を一緒に過ごせたらと思います。



先日、人形劇団ひとみ座幼児劇場の皆さんをお招きし、観劇会を行いました。演目は『ブタとオオカミ』『ねこちゃんの雨やどり』の二本立てです。“みんなのへや”が“人形劇場”になり、入場した時には少し緊張気味の子もいましたが、劇団員の方とやりとりをしながら気持ちほぐれたようで、お話が始まる時にはリラックスしてお話の世界に入っていました。3歳児ことり組は、オオカミが出てくると本気で怖がっていたのが先生の側にいることで続きを落ち着いてみている子や、人形の仕草を自然に真似している子など、様々な姿が見られました。4歳児かもめ組は、ことり組ほど声には出しませんが、表情や前のめりな姿勢から楽しんでいる姿が伝わりました。5歳児いるか組になると、人形の動く仕組みに興味をもち、どうなっているんだろう？と違う視点でも興味をもつ姿が見られました。最後にいるか組だけ残って、人形劇のひみつを教えてもらう時間を取っていただけなのですが、次々に人形の動かし方や素材など、知りたいことを口にする姿が見られました。この日の体験が、自分たちの表現活動にどんな風に生かされるのかも楽しみです。

園では毎日、絵本や紙芝居、パネルシアターなどで読み聞かせやお話をしています。担任は、子どもたちの遊びや生活の様子、そして共通にしたい話題などを考慮してお話を選んでいきます。様々なお話に触れることは、子どもたちの世界を大きく広げることにつながります。また、日頃から幼稚園や親子で絵本に親しむということは、言葉に対する感覚を養ったり、状況に応じた適切な言葉の表現を使うことにもつながります。自分で絵本を開くようになると、もう読み聞かせはしなくていいのかと思われるかもしれませんが、それは誤解です。お家の方の声でお話を聞くことが、何にも代えられない心の財産となります。お子さんにとって、自分のために時間を取ってもらえるということは、大切にされているという実感につながります。その積み重ねは、生涯にわたりお子さんを支えてくれるものになると思います。

園でも週末に絵本の貸し出しを行っていますが、是非1回は保護者の方による読み聞かせをお願いします。冬休みにも親子で一緒にお話の世界を楽しみ、面白さ、不思議さ、驚き、感動など、様々な感情を分かち合っていたいただけると幸いです。お気に入りの一冊を見つけるのもいいですね。



今学期も園の教育へのご理解・ご協力に感謝申し上げます。



幼稚園経営計画 今年度の主な取り組みからの抜粋

(4)教材や行事を工夫し、心動く体験へとつなげ、豊かな学びを保障します。

②絵本や物語に親しみ、言葉に興味・関心をもち、豊かな言葉や表現を身に付けていくことができるよう、担任による日常的な読み聞かせや「お話会」を開催し、多様な題材や語りに触れることができるようにします。

